

## 2023年度 第5回マッチングワークショップ（MWS）実施報告

湘南工科大学 副学長・工学部長 森井亨

9月23日（土）のMWSは、37名の参加者を迎えて実施しました。

### 【オープニング】

12時30分の受付開始から参加者が順次集まり、各自が着席する席のビブス色・番号を確認した後に、指定された教室に入室してもらいました。今年度は、これまでのMWSで、無連絡の欠席が多数あり、開始時間の遅れにつながるようなことが多々ありました。今回は受付開始とともに参加者が着々と集まり、各教室は段々と賑やかになりました。集まった人から順に開始時刻までに進行担当教員指示のもと、ビブスの着用、グループワーク中に呼んでもらいたいニックネームを記載した名札の準備をしてもらいました。その作業をしながら、各テーブルではお互い初対面であるものの徐々に会話が始まり、着席時は硬かった参加者の表情も緩み始めていました。

参加者全員の着席が完了したところで、各教室にて進行担当から配布物の確認、実施内容と進行の概略、グループワーク中に心掛けてもらいたいことを説明しました。その後、これから行うグループワークの環境作りとして、簡単なアイスブレイクを行いました。いきなり「話す」ということに抵抗を感じる人もいるため、このアイスブレイクでは毎回、身体を使い、声を発しないものから始めます。「インディアン合図」や「拍手回し」といった定番のアイスブレイクで、教室内は笑い声などが聞こえるようになり、温かい雰囲気ができあがっていきました。その後、各グループ内で順に1分程度の自己紹介を行い、グループワークへと移行しました。

### 【前半のグループワーク】

メンバーそれぞれが2分間でテーマについて自分の考えを説明し、そのあと20分程度で意見交換をしました。今回の課題は日本および諸外国の食糧自給について、グラフを読み取り、食料安全保障について考えるものでした。事前に調べた情報を課題提出用シートにまとめてきたものを使いながら、自身の意見を交えた発表が各グループで行われました。発表では、立ち上がってホワイトボードを活用しながら発表する人、身振り手振りを交えながら熱く語る人、自作の資料を机の上に広げて説明する人など、それぞれ工夫しながら発表する姿が各所で見られました。発表を聴く姿勢について、開始時の説明で心掛けることが示されていましたが、それぞれの発表にしっかりと耳を傾け、相槌を打ちながら聴いている人、自分のメモシートに一生懸命書き取っている人など、聴き方にも様々なスタイルが見られました。それぞれの発表の後、質疑・議論の時間をとりました。今回は、各グループの人数が4人のところが多かったため、これまでよりも議論する時間がタツプり取れたこともあり、話したりなかったことを追加で説明する人、リーダー役を買って出た参加者が議論を進めているグループなど、それぞれのグループで活発な議論が行われました。

### 【グループワークのまとめと休憩およびグループ移動】

休憩を含めて10分程度の時間をとり、各人がグループで議論した内容を整理し、休憩後に新たなグループで行われるプレゼンテーションで話す内容の準備をしていました。休憩時間ではありますが、みなさん議論内容を静かで丁寧にまとめていました。

### 【後半のプレゼンテーション】

後半の開始にあたり、各グループから 1 名ずつ集めて新しいグループを作り、席の移動を行いました。今回は、評価を担当する教員が後半から教室を入れ替わったため、はじめに自己紹介を行った後、各グループの新メンバーで簡単な自己紹介と発表の順番決めを行いました。自己紹介終了後、メンバーそれぞれに前半のグループワークで議論した内容を 2 分間で順番に説明してもらいました。また、それぞれの発表の後、2 分間の質疑応答の時間を設け意見交換を行うことを、順番に全メンバーが行いました。前半のグループワークの際は、用意した資料を読み上げるような発表が少なからず見られましたが、他のメンバーの発表を参考にして、聴き手の顔を見ながら熱心に説明する姿が見られ、短時間の中でも改善がみられる参加者もいました。また、議論をする姿も前半時よりも、より熱のこもったものとなっていました。

### 【クロージングと振り返り】

最後に、改めてこのイベントで参加者に期待することを説明した上で、振り返りシートへの記入とアンケートへの回答を行ってもらい、書き終えた人から流れ解散としました。この MWS では、プレゼンテーションやグループワークを行うことだけでなく、そこでの自分の行動を振り返り、改善点を自ら見つけることも大事な点となっており、参加者は今回の MWS で行ったことを思い返しながらか、振り返りをまとめていました。皆沈黙の中で鉛筆を走らせていたため、教室内はしばらく筆記試験を実施しているような雰囲気でしたが、時折教員が声がけすることで、笑い声や話し声も聞こえるようになりました。

また、終了後には興味ある学科の教員に個別に質問する姿も見られ、今年度の入試が始まる直前で本学の理解をより深めようとする様子が伺えました。

終了後に記入してもらった振り返りシートでは、この MWS 開始時に進行役が説明したこのワークショップで心がけてほしいポイントがどの程度できていたか、についての記述や、他の参加者と自分を比較してどうであったか、参加前に目標としていたことがどの程度達成できたか、などについての記述が多く見られました。複数名で議論することで、1 人では気付かない新たな発見がたくさんあった、という記述もたくさん見られました。

この MWS というイベントは、本学の総合型選抜「MWS 方式」への出願要件となっておりますが、その目的は現在の湘南工科大学での学修の基盤となるアクティブラーニングを取り入れた授業と同様の学び方を体験して、本学との相性を測ってもらうことです。本学ではグループワークやプレゼンテーションなど、他者と協働しながら学ぶ授業がたくさんあり、総合型選抜での出願に限らず、湘南工科大学を受験校の 1 つとして考えている皆さんには、是非このマッチングワークショップに参加して、湘南工科大学での学び方を体験してもらいたいと思います。

今年度の MWS も、残すところ 11 月 4 日開催の 1 回となりました。総合型選抜「MWS 方式」の入試は、11 月 18 日が試験日の中期、12 月 16 日が試験日の後期があります。志望校として少しでも本学に興味がある方には、是非次回の MWS に参加して本学の学びを体験してもらいたいと思います。また、高校 3 年生だけでなく、高校 1、2 年生の皆さんにも、本学が実施するグループワークが学びに対してどのような効果があるのか、を参加することで感じ取ってもらえれば幸いです。